

PRODUCTS

納得いくものしか製品化しない
こだわりぬいたアイテム揃い

NRマジックの製品は、完璧を目指す中里さんのポリシーが貫かれている。エンジンオイルの開発には3年、フォークオイルとエナジードリンクの開発も同等の年月が費やされている。開発の全てを自社で行うことは本意ではないという。外部に依頼して良いものが出来るのなら、それにこしたことはないとする。コスト面でも有利になる。それでも自ら開発を行うのは、性能と品質に妥協を許さないからなのだ。



ENERGY GPフォークオイルは3タイプ用意されているが、試乗車に使われていたのはスーパーハード。そう聞くとレース専用スペックかと思われがちだが、これが街乗りでも良いという。落ち着きのある乗り味は、ミニバイクに乗り慣れないライダーにもお勧め。ダンパーロード式フロントフォーク専用、スーパーハード/ハード/ミディアムの3タイプ。500ml 2,000円(税別)



開発に3年を費やしたという、ENERGY GP 4STROKEオイルはレースで性能を実証済み。4時間耐久レースに使用し、以前は2時間ほどでパワーダウンを感じていたものが、4時間を走りきっても性能ダウンは起きなかったという。20W-50/5W-45/5W-20の3タイプで、1L 4,200円(税別)



やはり「自分が飲しかった」から開発されたというエナジードリンクのアミノエナジー。生産は一流製薬会社に依頼しているが、配合を決めたのは中里さん。「自分が飲むためのものですから、身体に悪いものは入れるわけがありません(笑)」アミノ酸1,200mg、ビタミンB2、B6、B12、高麗人参、ビルベリー、カフェインなどを配合。購入はNRマジックの通販(フリーダイヤル 0120-320-019)、アミノエナジー-通販ヤフー店、アマゾン、全国の南海部品で。1箱10本入り 2,800円(税別)

【バイクプロス】
BikeBros.
で掲載されました



至極個人的な理由から生み出されたNRマジックのオイル達。だが、そのおかげで我々ユーザーも高性能を味わうことができるのだ。これに乗らない手はないだろう。NRマジックの製品は、開発者の中里さんが納得いくもの、いや自分が欲しいと思うものを作り出し製品化したものばかりだ。ならば、パフォーマンスとクオリティに類があるわけがない。何しろ、自分のためのアイテムなのだから、手放さざるわけはないのだ。

詳しくはコチラをクリック

IMPRESSION!



踏ん張りが効くからハードに攻められる!

TEST MACHINE



「ハード」と「スーパーハード」のGPフォークオイルに交換したマシンのほか、ノーマルの車両も用意。それぞれの特性の違いをキッシー岸田がインプレッションした。

くなるものの、やはり底付きの問題は完全には解消されないうままだったという。「ならば自分で作るしかない」と思い立ち、オイルメーカーと協力しながら開発し、幾多の実験テストを経て完成したのがエナジーGPフォークオイルというわけだ。

では、その特徴はどこにあるのか。中里さんに聞いてみよう。「フォークオイルでは、粘度だけでなく泡立ち性も重要となります。硬いだけのオイルを入れると、最初はいいけど、走っているとすぐ膜がなくなってしまうものが多い。そうならないためには、泡立ちしにくい特性のオイルでなくてはならない。それを実現したのがGPフォークオイルなのです」

このオイルはもちろんグロムだけに有効というわけではない。YZF-R25やニンジャ250といった市販の250ccスポーツバイクをベースとしたマシンで争われるJPGP250クラスでもフロントフォークのオリフィス改造などは許されていないので、フォークオイル交換は実に効果的だ。また、レースシーンだけでなく、街乗りマシンにもオススメしたい。ヒョコヒョコとした落ち着かないフロントの動きが減るので、より快適な走りを楽しめることだろう。

調査員

キッシー岸田から報告!

「こんなに違いがあるとは驚いた! ノーマルのフォークは柔らかいというが、「スコーン」と入って、「ヒョーン」と感じる。だからブレーキも強くかけられないし、安定性が無い。ところがオイル交換済みのマシンだと、前が踏ん張ってくれるからブレーキを思い切ってかけられるし、戻りもしなやかで姿勢変化が少ないから切り返しも楽早い。今日は気温が低かったから「ハード」でもいいのかと思ったけど、本気で攻めるならやはり「スーパーハード」の方がいい



ブレーキ時の安定感が段違い!

MMR Moto Champ Mono Research

結晶のアレを徹底調査

足周りのしっっかり感が劇的変化!

調査員が気になったアイテムをピックアップして、その魅力を調査報告するこのコーナー。今月の主役はズバリ、フォークオイル。えっ、地味だっけ? チツチツ。たかがオイル、されどオイル。オイルだけで、こんなに走りが変わるなんてビックリなのです!

PHOTO:石井英治(フットスペースRS) RIDER:キッシー岸田



NR MAGIC エナジー GPフォークオイル

価格:2160円

NRマジック ☎0745-62-1680



「いいところ」調査結果

- 1 優れたダンパー特性を実現
- 2 泡立ちしにくく耐久性が高い
- 3 改造範囲が狭いレースに最適

シーンに応じて選べる 3種類の粘度を用意

オリフィスなどを変更することなく、ダンパー特性を最適化すべく開発。容量は500ml。街乗り中心なら「ミディアム」、峠道やサーキットなら「ハード」、上級者や気温の高い夏場は「スーパーハード」というのが目安。



レースで勝つための新構造

新型マフラー

NRマジックの秘密兵器。チャンバーのように輪切りの板を溶接した曲げ部分が特徴。従来品よりもピークパワーを重視しており、重量も従来品より800g軽い約2.9kgを実現。鈴鹿ミニモト4耐勝利を目指して開発中だ。



エナジー 4st GP エンジンオイル

開発に3年をかけたというエンジンオイル。1缶(4536円/写真左)に加えて、「ビッグバイクにも使いたい」というユーザーからの声に応えるべく、このたび4缶(1万6200円/写真右)が新登場。

パワーと耐久性向上に自信あり



NEW ITEM INFORMATION

レースへの参戦を続けながら、積極的なパーツ開発を行っているNRマジック。続々登場するニューアイテムを紹介しよう。



特に中里さんがこだわったのが、最適な粘度の設定と泡立ちしにくい特性の実現。ただ硬いだけでなく、耐久性も重要な要素なのだ。



一度使ってみてや〜!

NRマジック エンジン中里さん「グロムでミニバイクレースに復帰したときからフロントの足回りに不満があり、それを解消するために開発していたのですが、ようやく納得できるオイルが完成しました。誰でもその効果を体感できると思います」

足に不満があるならせひ! 街乗りマシンにも効果あり!

鈴鹿ミニモト4時間耐久レースやモトチャンプ杯ミニバイクレースのSTクラスは、レギュレーションによってマシンの改造範囲が非常に限られているのが特徴だ。フロントの足回りに関しては、フロントフォークの改造は不可で、スプリングの変更すら許されていない。しかし、ノーマルの足回りは街中での走行を想定

したセッティングが施されており、サーキットでハードな走りをするには力不足である。その対策の代表例が、フロントフォークオイルの交換だ。今回紹介する「エナジーGPフォークオイル」は、NRマジックの代表、エンジン中里さんの自信作。中里さんは自社パーツの開発を兼ねながら、グロムで積極的にレースに参戦し、2014年の鈴鹿ミニモト4耐ではグロムクラスで3位を獲得するなど、数々の実績を残している。そんな中里さんだが、グロムの足回りは「ノーマルだと柔らかくて底付きしやすく、路面のギャップを拾いやすい」という印象を持っていた。そのウイークポイントを解消すべく、様々なオイルメーカーのフォークオイルを試したそう。しかし、ノーマルよりは良

フォークの構造

黄色がオイルに満たされている部分だが、内部には小さなオイルの通り道(オリフィスやバルブ)があり、そこをオイルが通ることで抵抗が生まれ、減衰力が発生する仕組み。このオリフィスやバルブがキモなのだ。STクラスでは改造や変更が許されていないのだ。

